

武庫川シンポジウム 企画案

1. テーマ 「武庫川づくりを考える——流域連携へ向けて」(仮)

2. 開催の趣旨

8月提言を受けた整備基本方針と整備計画の原案提示はかなり先に延びたが、武庫川づくりを進めていくためには流域住民の武庫川への関心と行動の高まりが不可欠である。具体的な整備計画とは別に、流域住民と諸団体、流域自治体の連携を生み出していくソフトづくりは緊急の課題である。流域のたしかな連携が培われていくことによって、流域対策はもちろん提言に盛り込まれた武庫川づくりの諸課題がスムーズに動きはじめることになる。

いま、なぜ、流域の連携が必要なのか？

流域連携はどのようにして形成され、どのような効果を発揮できるのか？

住民と住民団体が連携を強めていくための要件や条件づくりには、どのようなことが求められるのか？

流域連携は具体的にどのようなことから手がけ、積み重ねていけばよいのか？

そのために必要な組織や仕組みはどのようなものか？

上流と下流域の連携がなぜ必要なのか？ どのように具体化するべきか？

流域の住民と自治体は何を、どのように連携していくべきなのか？

河川管理者と流域自治体、流域住民の連携課題は何か？

こうしたテーマを議論し、提言がうたう「流域連携」の基礎づくりと連携組織の立ち上げを促していく。

3. プログラム

◇オープニング 組曲「武庫川」(小学生の合唱)

◇基調講演 河合雅雄氏(丹波の森公苑名誉理事長、人と自然の博物館名誉館長)

「川に親しむ」または「川を育てる、川に育てられる」(仮題)

◇基調報告 「総合治水へ向けて」(武庫川流域委員会の8月提言の簡単な紹介)

委員長の報告に加えて、伊藤委員が制作する「これが武庫川だ」(パワポイント映像構成)

◇パネル討議 「流域連携による川づくりをどう進めるか」(要検討)

パネリスト(候補=全国各地の実践例から学ぶ)

酒井・篠山市長(上流代表)

白井文・尼崎市長(下流域代表)

吉村伸一(流域計画室代表)=全国各地の川づくりの経験豊富。2001/10 第1回武庫川シン

矢作川

横山 正(千種川圏域清流づくり委員会)

コーディネーター

松本 誠(武庫川流域委員会委員長)

4. 会場 できれば西宮市民会館または兵庫県公館？

(西宮の場合には、地元の西宮市長に歓迎？の挨拶をしてもらう。公館の場合は知事？)

5. 主催 武庫川流域委員会&兵庫県武庫川総合治水推進会議

(開会 or 閉会のあいさつ 推進会議座長 or 知事)

6. 費用は推進会議または河川協会？

7. 開催時期 5月下旬または6月(土曜または日曜)

8. 企画運営グループの編成(運営委員中心に数名)